

様式第 3 号

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和 8 年度 第 2 回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会		
事務局（担当課）		土木部交通政策課		
開 催 日 時		令和 8 年 1 0 月 6 日（火） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0		
開 催 場 所		アステ市民プラザ ルーム 1		
出席者	部 会 員	日野 泰雄、武田 容美、上畑 雄太郎（代理出席）、中澤 栄二（代理出席）		
	地 域 代 表	植木 信嘉、嶋川 幸三		
	事 務 局	【土木部交通政策課】 金森課長、森本主査、網永		
傍聴の可否		否	傍 聴 者 数	—
傍聴不可・一部不可の場合、その理由		川西市地域公共交通会議規則第 5 条第 6 項の規定により非公開		
会 議 次 第		1. 開会 2. テーマ (1) 秋のイベントの詳細について (2) ワークショップ・講演会の詳細について (3) ルート変更について (4) 経費高騰を加味した R9 年度の目標実利用者数について (5) 今後のスケジュールについて (6) その他 3. 閉会		
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり		

概要

1. 開会

2. テーマ

(1) 秋のイベントの詳細について

〈主旨〉 前回と同様 11/21(土)、11/28(土)、11/29(日)に大人も子どももバスの運賃無料にするバス無料デイを実施する。11/21(土) 9～14 時の 6 便はバス 2 台体制とする。

〈主な意見〉

- ① 地域の予算で実施できて、阪急バスもそれに対応できるのであればこの案であれば良いと思う。
- ② 今回は前回の効果検証ということで阪急バスの厚意に甘えているが、次年度以降はバス 2 台体制はなしで考えないといけない。
- ③ 前回の結果と比較できるようにしていただきたい。

(2) ワークショップ・講演会の詳細について

〈主旨〉 2 月上旬にワークショップ・講演会を開催する予定。

〈主な意見〉

- ① 地域での様々なイベントでワークショップの案内をして幅広く若い人を集めてほしい。
- ② どのようなことを考えてこの地域住んだのか。公共交通が家から遠くても車があるから良いということなのか。「バス停が近くにあったらバスを使いますか?」としっかり話さないと実際近くにバス停ができて結局乗らないということになる。バス停から遠くに住む人は公共交通の優先順位は低い。そういうところにバスを走らせても誰も乗らない。本音で話せる場にできればよい。
- ③ テーマは「将来のわが町を考える」や「10 年後にバスが来なかったらどうする?」などはどうか。

(3) ルート変更について

〈主旨〉 大和自治会館前のバス停を復活させて、昼間だけ八の字ルートにしたい。

〈主な意見〉

- ① サークル活動に行く人が多く、このルートであればみんなが助かる。絶対に乗る人は増える。
- ② このルートだと運行時間が増えるため、昼間だけの変更でも今の便数は維持できない。
- ③ 阪急バスにはシミュレーションを作ってもらって、ルート変更による状況の変化等を示してもらった上で、改めて検討できればよい。
- ④ 効果があるのであれば早く実施すればよいと思うが、結果については地域で責任を持つ必要がある。

(4) 経費高騰を加味した R9 年度の目標実利用者数について

〈主旨〉 R9 年度は経費高騰分を加味し補助金を増額し、目標実利用者数 126,800 人での設定を検討。

〈主な意見〉

- ① 目標値については地域に持ち帰って説明をする。
- ② 地域でこの目標に対して特に問題なければ地交会議で報告いただければよいと思う。

(5) 今後のスケジュールについて

〈主旨〉目標実利用者数は12月の地交会議で報告する。実施計画（案）は3月の地交会議で承認いただく。

(6) その他

タクシーを利用しやすくするため、日の丸タクシーの電話番号を載せたチラシを畦野駅の掲示板に掲示した。

〈主な意見〉

- ① 地域に周知した上で、可能であれば11月の大和ニュースに掲載したいと思う。
- ② 地域は畦野駅が拠点のため山下までへ行ってタクシーに乗ることに抵抗がある。畦野駅にタクシー乗り場を作ってほしい。

3. 閉会